

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

Table with 4 rows: 事業所番号 (0170501316), 法人名 (社会福祉法人), 事業所名 (愛全会 グループホーム てんとう虫の家), 所在地 (札幌市南区川沿13条3丁目3番地10号), 自己評価作成日 (令和2年9月15日), 評価結果市町村受理日 (令和3年3月30日)

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・ 閑静な住宅街に立地しており、地域の方との暖かい交流を図らせて頂いております。・ホームの理念であります、笑顔で毎日をいきいきとお過ごし頂ける様、入居者様には毎日のお食事の下ごしらえから、味付け、盛り付けまでの家事を職員と一緒にして頂いたり、お習字のお得意な方には、毎日のお品書きを筆ペンで書いて頂いています。・お彼岸にはおはぎ作りを毎年恒例行事として皆様に、召し上がって頂いています。又地域の保育園児が、七夕や敬老の日はホームに来訪し可愛らしい遊戯を見せて下さいます。・秋には保育園に、こちらから出向きお遊戯会見学をしています。お礼に入居者様が、心をこめてお作りになった、刺し子の布巾等を差し上げています。・自然災害、防災対策については、皆様の安全をお守りするため力を入れています。万が一の為の非常食、飲み水の確保は勿論の事、バックアップ施設であります特別養護老人施設サングレイスも徒歩圏内に立地し協力体制が整っております。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL: http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2017_02_2_kani=true&JigvoSyoCd=0170501316-00&PrefCd=01&VersionCd=022

【評価機関概要(評価機関記入)】

Table with 3 rows: 評価機関名 (特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット), 所在地 (札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401), 訪問調査日 (令和3年3月2日)

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- 1) 運営の基本事項(環境・介護設備の機能性や至便性等); 閑静な住宅街にあって、町内会との交わりも長い。連携医療機関等も近く、施設の介護機能も至便で、こじんまりした家庭的な1ユニット。
2) 職員の介護への姿勢・態度; 職員は介護事業に精通して、利用者・家族等に優しく、個々の心身の状況に応じた真摯な支援があり、家族との信頼関係も高い。
3) 家族の介護等への好感度等; 家族は職員の専門的理解や真摯な介護態度について、よく聴き、観察してくれて、よく状況を伝えてくれることに高い好感を寄せている。
4) 運営推進会議の開催状況; 通例は民生委員、町内関係者、包括支援センター、利用者・家族の参加を得て、日頃の運営状況を明らかにして、参加者の意向を運営に反映している。
5) 地域組織・機関等との連携; 地域町内会等との役割と共に行事(新年会等)に参加し、保育園との交流等を楽しみ、近隣の散歩などでの出合いや花々を愛でる生活環境にある。

Table with 4 columns: 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印), 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印). Rows 56-62 detailing service outcomes and staff performance.

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域に根ざし、入居者様が笑顔でお過ごし頂ける毎日をご支援する理念を構築し、職員は日々のケアの中で理念の実践に努めております。	職員は事業理念「その人らしく、安心と温もりある地域での生活を楽しみ、家族と寄り添い、穏やかに支援する」等の要旨を共有して、真摯な介護実践に専念している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	町内会主催の新年会に毎年参加させて頂いております。又散歩の際もご挨拶やお声がけをして下さる等地域の一員として交流させて頂いております。	閑静な住宅街に囲まれたホームは、町内会の一員として役割を果たすとともに、行事(新年会等)を共にして、利用者は日常の散歩等での出会いや花壇等を愛でる関係にある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議等を通じて認知症についてお話をする機会を設け、理解を深めて頂く様努めております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回の運営推進会議でホームからの事故報告や日々の暮らしぶり等ご報告しております。又地域の方や包括支援センターの方からの情報を頂きサービスの向上に役立てて行くよう努めております。	会議は定例に開催。町内会、包括支援センター、利用者・家族等の参加を得て、運営状況を資料を提示して説明し、参会者の意向等を運営に反映するよう努めている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	管理者は札幌市、南区の管理者会議に出席し担当者からの連絡事項を職員に伝えていきます。又、毎月の利用状況を市の担当者にお伝えております。	札幌市、南区管理者会議等での情報交換と行政の動向を把握、また事故報告等での連絡などがある。また包括支援センターからは関係情報を得ることも少なくない。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	カンファレンス時に身体拘束についての研修を定期的に行い知識を深めると共に毎朝申し送り時に身体拘束3用件を復唱し身体拘束の無いケアに取り組んでおります。	身体拘束委員会は定例に開催して、指定基準にある介護の基本事項を再確認するなど、研修の機会とし、検討結果を諸定例職員会議で報告して周知に努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待の研修会に職員全員が出席し学んでいます。又カンファレンス時にも虐待について話し合い虐待の防止に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人を学ぶ研修会に参加し理解を深めると共に、成年後見人を立て方の経験からその必要性、重要性を感じております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約、解約時には十分なお説明を心がけご利用者様、ご家族様の疑問点等に真摯にお答えしご理解を得られる様努めております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日々の中で入居者様のご要望を聞き取る様に心掛けていると共にご家族様には毎年のアンケートや面会時での聞き取りを行い、運営に反映する様努めております。	日常生活での利用者の思い等を傾聴するとともに、家族の来訪時には個々の生活事情や変化を伝えて、家族の意向を受け止め、家族間の馴染みの支援に役立てている。また年間の家族アンケートの聞き取り結果をまとめて個々の介護や運営に活かしている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	年に2回職員面接を行い意見を聞くと共に日々の中で、エリアマネージャーや管理者が職員の話の聞き、提案や意見を反映する様心掛けております。	管理者は、定例職員会議(カンファレンス等)での各職位の専門的意向に留意するとともに、人事考課における個別面談での意向も受容している。またエリアマネージャー等の示唆も運営に活かして組織的対応に努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に2回自己申告書を出す機会があります。その際個々の努力した点や職場環境整備の希望など述べる機会があります。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	グループホーム全体研修を開催し職員を参加させています。又外部研修参加の機会も与えています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者が札幌市、各区の管理者会議に出席した際他の事業所の取り組み等を交流を通して学ぶ機会があり他の職員へもユニットに持ち帰り伝達研修を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご入居前からご本人様の希望やご不安等に耳を傾け新しい生活に少しずつ慣れて頂ける様又信頼関係を築けるように職員一同努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご契約の段階で、ご家族様のご希望やご不安に耳を傾け、ご不安な点は少しずつ解消出来る様時間をかけながら、信頼関係を築いていける様に努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様、ご家族様のご希望などをお聞きしながら、必要に応じた他サービス利用をご提案させて頂ける様努めております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様には、食事の支度や庭の花植え等の活動を職員と一緒にして行って頂きながら暮らしを共にする関係を築ける様努めております		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様の面会時には、自室でゆっくりとお話をして頂ける環境を整えております。又日々のご様子をお伝えしながら、ご本人様にとって今何が大切かをご家族様と一緒にご相談をする機会を持てる様努めております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様、知人の方のご面会時は大切な時間を居室でゆっくりとお話をして頂ける環境を整えております。	知人を含む家族の来訪時には、その馴染みの関係を損なうことなく、和やかな関係の維持が進むよう支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同志のコミュニケーションが図りやすい様職員が間に入りお手伝いしております。又気の合う入居者様同志、お話し易い席に座って頂ける工夫もしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了した方へもその後のご相談やご支援が出来る様に努めております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々ご本人様やご家族様からのご意向を伺いながら、その時々での思いの把握に努めております。又把握が難しい場合でもご本人様の立場に立ち意向を把握する様努めております。	定例のアセスメント記録継続に努め、職員の共有化を図っている。また、日常の言・動等から学んで、思いや意向を介護に活かしている。家族からも学び活かしている。	本人の最後の場所等の希望について、どのように聞き取るのか、また不必要の事項なのかを職員間で協議検討し、職員間での共有に努めるよう期待したい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人、ご家族様より生活暦等をお聞きし、把握に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々のご様子や都度の申し送り又アセスメントを用いその方の暮らしの現状の把握に努めております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護支援専門員を中心とし職員全員がアセスメントをし介護計画を立てています。又カンファレンス時に都度話し合いを持ちながらご本人様に即した介護計画の作成に努めています。	介護計画・変更等にあつては、日頃のカンファレンス会議等の各職位の記録等を基にしている。介護支援専門員を核に利用者個々の生活課題に合わせて協議し、家族の意向を含めて作成し、了解を得ている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	入居者様の個人記録にはケアプランに沿ったケアの記録の他に日々の変化等を出来るだけ詳細に記録し職員間で情報を共有しながらより良いケアの実践に努めております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人様、ご家族様のご希望などをお聞きしながら、必要に応じた他サービス利用をご提案させて頂ける様努め、柔軟なサービスのご支援に努めております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の方のボランティアの方にご協力頂きながら、お化粧講座、大正琴の演奏等豊かな暮らしのご支援を頂いております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	訪問診療を希望される方には、医療機関とのご支援をしております。又ご本人ご家族様が安心して受診が継続できる様努めております。	かかりつけ医のある場合はこれに応じて支援している。通常は近隣の協力医療機関の訪問診療体制の理解を得て、健康等の管理に当たっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	月に4回の訪問看護師の健康相談を受けています。状態や症状により受診への助言や掛かりつけ医への連絡調整も担って頂いています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入、退院時は医療機関との連絡を取りながら状況の把握に努めております。又医療機関との関係作りにも努めております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいます	ご契約時に終末期に対するご要望をお聞きしています。又ご本人、ご家族様とも終末期、重度化した場合についてのご要望を面会時等にお聞きし、必要に応じて看取りの説明もさせて頂いております。	重度化・終末期対応には、契約時の重度化等対応指針の合意を得ている。通常家族との情報交換に努めているが、個々の心身の変化には即応して、医療機関・家族等で協議の上、最適の対応に努めている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急対応の研修を年1回行い初期対応の訓練を定期的に受けて実践力を身に付けられるよう努めています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回の防災訓練時、職員全員が避難経路、方法などについて確認しております。又バックアップ施設が徒歩圏内にあり協力体制を築いております。	近隣の連携医療機関も含め、防災訓練にあつては、組織内役割、避難経路・方法、所内設備等の点検も含めて想定訓練を実施している。備蓄等も連携体制の下にある。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の大先輩であり尊敬を持ちながらお話をさせて頂いております。又羞恥心等にも十分な配慮をしております。	職員は事業理念の要旨を共有して、介護の基本を踏まえ、利用者のその人らしさに添い、誇りや個性を損なうことのない真摯な介護実践に専念している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で入居者様の思いや希望、自己決定を発しやすい声かけに努めております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様御一人御一人の生活のペースにあわせご希望に添える生活をご支援させて頂く様努めております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節感のあるおしゃれや外出の際のお化粧品などご支援させて頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お食事は栄養は勿論ですが、盛り付けや食べやすさにも配慮し対応しております。又入居者様と一緒に食事の準備後片付けなど無理の無い様、配慮しながら行っております。	食事は利用者個々の心身の状況、嗜好、栄養等に留意して、週間の献立表が明示され、行事、季節等の彩りも含め楽しく、美味しそうな献立が並んでいる。また、食事は協働の場ともなっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士が立てた栄養バランスのある食事を召し上がって頂いています水分。もお好みの物をお聞きしながら、毎日の水分量を確保して頂ける様に努めております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアと共にご希望の方には歯科の訪問診療を受けて頂きながら、口腔内の清潔保持のご支援に努めております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	入居者様それぞれの排泄パターンをアセスメントし必要に応じてトイレの声かけを行い排泄の支援に努めています。	利用者の平均年齢は89.3歳だがお元気そう。排泄の自立を基本に、個々の排泄パターンをアセスメントして職員が共有するなど、スムーズなトイレ排泄ができるよう支援している。医師・看護師の協力を得ている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々に応じて、主治医や訪問看護師の協力を得て便秘の予防に努めると共に、日々の食事や水分の工夫に努めております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴はその方の好みに合わせ湯加減を調節したり、お好みの香りの石鹸等ご利用頂ける様配慮しております。	入浴支援は利用者個々にとっては、穏やかな、平安のひと時であり、湯加減、好みの香りある石鹸等の配慮があって、安らぎの支援に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中、夜間とも快適に休息、安眠出来る環境やお声掛けに努めております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	主治医、管理薬局との連携を図りながら、薬についての理解を深めると共に毎日の服薬支援に努めております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者様御一人御一人に合わせた、役割を持っていただくと共に、レクリエーションを通じて気分転換も図って頂ける様努めております		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	個々の入居者様のご希望を日々お聞きしながら、外出支援をしております。又ホームの全体でお花見や紅葉見学を恒例行事として出掛けております。又ご家族様との外出の際には必要に応じて車椅子をお貸しする等の対応をしております。	外出支援にあつては、個々の意向も含め、閑静な住宅に囲まれた環境にあつて、近隣の植木・花壇を楽しみ、時には外食に出掛け、桜花・紅葉の見学会を恒例の楽しみとしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族様ともご相談をし、お買い物の時等ご自分のお金でお買い物を頂くご支援をさせて頂いております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様、知人の方からの電話やお手紙のやり取りの取次ぎやポスト迄お手紙を投函するご支援をさせて頂いております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に応じた適切な室温、湿度管理に配慮しながら、季節感のあるお花や装飾を心がけています。又共用のトイレ、浴室等は特に清潔保持に努めております。	2階建て家屋の雰囲気を生かした居間・台所を中心に、身近に居室、利用者の日常そのままが懇談の場となつていて家庭的。室温・湿度・採光・清潔さ等の管理もよく、季節の花・飾りつけなど居心地良い環境にある。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにはソファやテーブル席をご用意し思い思いの場所で寛ぎ、お話を頂ける環境づくりに努めております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人ご家族様とご相談をして、なじみの家具や本、ご家族との写真を飾って頂く等居心地良くお過ごし頂ける様ご支援しております。	居室づくりは家族の協力を得て、個々の馴染みの家具・調度品や読み物等、それぞれに合った生活を楽しめるように支援をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	階段やリビング内には適材適所に手すりを配置し安全に暮らして頂ける環境づくりに努めております。又各居室前にはネームプレートを設置しわかり易い工夫にも努めております。		